

月にみがきて



更級小学校だより
No. 7 H28. 11. 4

楽しんだ!がんばった!縄文まつり ～地域のみなさんとつくりあげて～

10月23日(土)に縄文まつりが開催されました。子どもたちは、豊穰儀礼や係活動などの役割に精一杯取り組み、力一杯ステージ発表をして、来場された方々をもてなすことができました。また、体験コーナーでは、縄文時代の生活をたくさん体験しました。来場された方々をもてなし、たくさん体験をして、まつりを思いっきり楽しみました。

まつりに向けて、事前に村長(実行委員長の豊城巖さん)から縄文まつりや縄文時代の生活についてお話を伺いました。その中で、「縄文まつりをつくりあげるためにみんなの力が必要です」とお話をいただきました。そして、後日、5・6年生は、実行委員の方と係活動の打合せをし、仕事の内容や留意点を教えていただきました。5年生は、豊穰儀礼の練習を古代体験パークで行いました。また、「自分たちの力でお客さんをもてなしたい」と、3・5・6年生は自分たちのお店を企画し、準備しました。子どもたちは、事前準備の段階から「地域のみなさんと一緒にまつりをつくりあげ、盛り上げたい」と願い、取り組んできました。当日、その気持ちが発揮され、子どもたちの姿になったのです。

実行委員の方からは、「編み物の教え方が上手にできたね」「大きな声で呼びかけることができたね」など、誉めていただきました。村長からも「更級小学校の子どもたちのおかげで、まつりが盛り上がった。よくがんばってくれた。ありがとう。」との言葉をいただきました。

【開村式、豊穰儀礼】



【体験コーナー】



【芸能村～ステージ発表】



〈日記より〉
縄文まつりで一番心に残ったのは、係の仕事のキビもちです。目標は、「みんなに安全でおいしく食べてもらう」なので、「ようじなので気をつけて下さい」「もちもちしておいしいよ」「つきたてだよ」などの声がけをしました。一回だれも来なくなったときに声を張り上げて「キビもちありますよ」と言ったら、またたくさんの方が来ました。大人の人に「いい声しているね」と言われたのでうれしかったです。

【まつりを楽しむ、子どもたちのお店】



【閉村式】



子どもたちは、今年の経験をもとに、来年はもっと「地域のみなさんと一緒に縄文まつりをつくりあげたい」と強く願って

(文責 塚田直道)

